

和歌山県感染症報告<速報>

Wakayama Infectious Diseases Report (WIDR)

2014年第45号(週報・月報合併号)

2014年第45週(11月3日~11月9日)、月報10月

◆◆ 注目すべき感染症の動向 ◆◆

一 水痘： 湯浅保健所管内で注意報レベル！！ 一

「みずぼうそう」とも呼ばれる水痘帯状疱疹ウイルスによる疾患です。季節的には毎年12~7月に多く、9歳以下の子どもが多くかかります。

和歌山県全体の定点当たり患者報告数は、1.39人(前週：0.74人)と再び大きく増加し、過去5年間の同時期に比べ多い状況です。

保健所別では湯浅保健所管内が4.33人(前週：0.33人)と急増し、注意報レベルとなっています。

全国的には定点当たりの患者報告数は少し増加しましたが、過去5年間の同時期に比べやや少ない状況です。(第44週：0.84人)

水痘ウイルス感染症の詳しい説明はこちら：(国立感染症研究所HP)

http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/k01_g2/k01_24.html

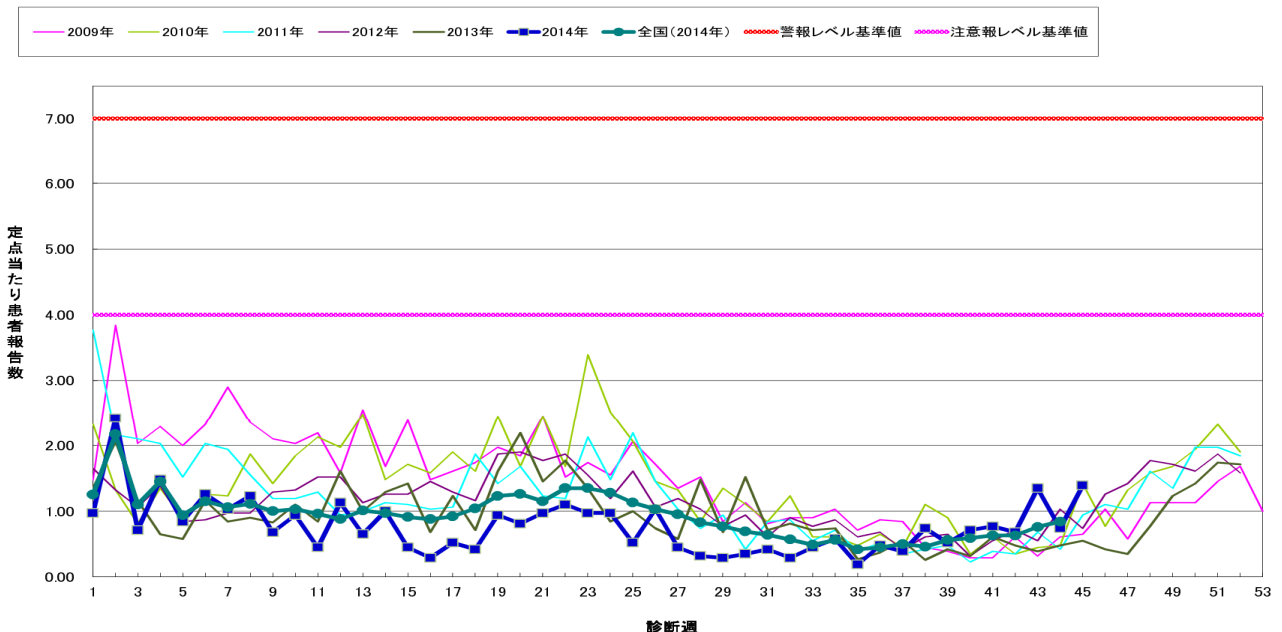
水痘帯状疱疹ウイルスは非常に感染力が強いので幼稚園や保育所などの集団生活に入る前には水痘ワクチンを接種して予防に努めましょう。

平成26年10月1日から水痘ワクチンが定期接種となっています。

水痘ワクチンの詳しい説明はこちら：(厚生労働省HP)

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/varicella/

水痘(和歌山県全体)



— **RSウイルス感染症** : **今後の動向注意！！** —

RSウイルス感染症はRSウイルスを原因とする呼吸器感染症で、2歳までにほぼ100%の子供が初感染を受けるとされています。また、生涯にわたり感染を繰り返す感染症です。

和歌山県全体の定点当たり患者報告数は、0.45人（前週：0.42人）とほぼ横ばいです。

全国的には患者報告数が急増し、過去5年間の同時期に比べ多い状況です。（第44週：3423人）

RSウイルス感染症は例年冬季に報告数のピークがみられますので今後の動向に注意してください。

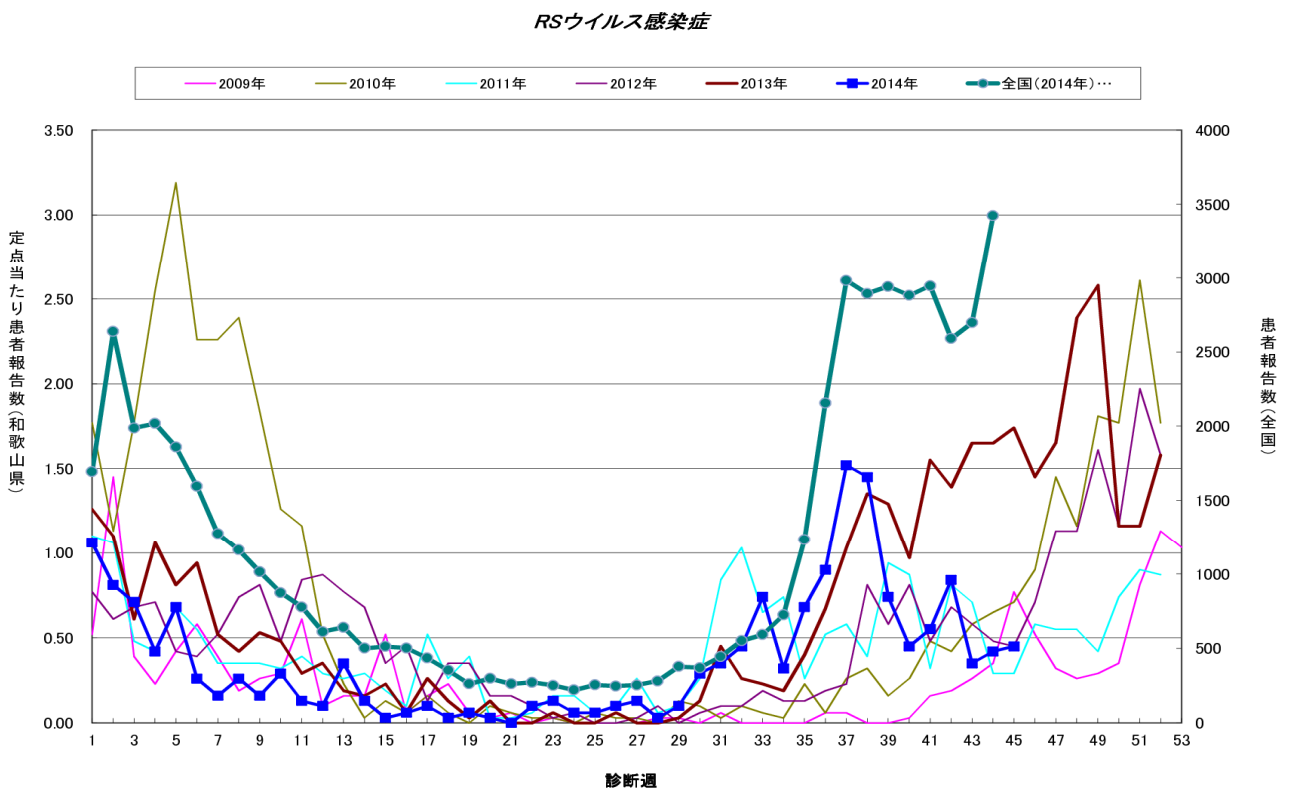
主な感染経路は飛沫感染と接触感染であることから、感染予防対策としては手洗い、うがいが基本です。

また、せきの症状がある場合はマスクを着用する等、せきエチケットを心がけてください。

なお、RSウイルス感染症に警報・注意報レベル基準値は設定されていません。

RSウイルス感染症の詳しい説明はこちら：（厚生労働省HP）

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/rs_qa.html



— **A群溶血性レンサ球菌咽頭炎** : **報告数増加！！** —

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは、A群溶血性レンサ球菌による上気道感染症で、突然の発熱と全身倦怠感、咽頭痛によって発症し、しばしば嘔吐を伴う細菌性の感染症です。

和歌山県全体の定点当たり患者報告数は、0.81人（前週：0.48人）と増加し、過去5年間の同時期に比べ多い状況です。

全国的には患者報告数は2週連続増加し、過去5年間の同時期に比べかなり多い状況です。（第44週：1.91人）

主な感染経路は飛沫感染と接触感染であることから、手洗い、うがいを徹底し、感染者とのタオルの共有は避ける等、予防に努めましょう。また、せきの症状がある場合はマスクを着用する等、せきエチケットを心がけてください。

－ 手足口病 : 報告数減少! －

手足口病は、口腔、手及び足等に水疱性の発疹ができるウイルス感染症で、乳幼児を中心に夏季に流行が見られます。原因となるウイルスは、主にコクサッキーウイルス A16、エンテロウイルス 71 で、その他コクサッキーウイルス A6 等が原因となることもあります。

今週の和歌山県全体の定点当たり患者報告数は 0.71 人（前週：0.84 人）と減少しましたが、過去 5 年間の同時期に比べ多い状況ですのでもうしばらく注意が必要です。

全国的には患者報告数は 2 週連続増加し、過去 5 年間の同時期に比べやや多い状況です。（第 44 週：0.75 人）

主な感染経路は、飛沫感染、接触感染及び糞口感染ですので、感染予防のためには流水と石けんで十分に手洗いを行うこと、またタオルの共用を避けることが大切です。

◆◆ これから注意が必要な感染症 ◆◆

－ 感染性胃腸炎 －

感染性胃腸炎は、細菌やウイルス等による感染症で、発熱、嘔吐、下痢等が主な症状です。

例年は10月頃から患者報告数が増加し、年末から年始にかけてピークを迎えます。

今年は今のところ患者報告数の大きな増加は確認されていません。

和歌山県全体の定点当たり患者報告数は1.68人（前週：1.16人）と少し増加しました。

全国的には、定点当たりの患者報告数は増加しています。（第44週：4.23人）

冬季の流行はウイルス感染によるものが多く、原因となる病原体は流行期前半ではノロウイルスが多いと言われています。ノロウイルスの感染力は強く、患者の吐物・便から手指を介して感染することも多く、その取り扱いに注意が必要です。

感染性胃腸炎の感染予防としては、次のようなポイントがあります。

○手を洗いましょう。

外出先から帰った後や、トイレの後、調理の前には、消毒液や石けんで十分手を洗いましょう。

タオルは共有せず専用のもにしましょう。

○食品の取り扱いに注意しましょう。

加熱する場合は、食品の中心まで火が通る（85℃、1分）ようにしましょう。

まな板、包丁、ふきん、タオル等も熱湯（85℃以上）で1分以上の加熱が有効です。

○患者の吐物等の処理に注意しましょう。

マスク、使い捨てビニール手袋等を着用し、ペーパータオル等で拭き取った後、ビニール袋などに入れて外に漏れないようにして捨てましょう。汚染された床は、約200倍程度に薄めた塩素系漂白剤を用いて消毒しましょう。

※塩素剤の取扱いは、ビニール手袋などして、十分換気しましょう。

※塩素系消毒剤は金属の腐食を起こすので、消毒後十分拭き取りましょう。

－ インフルエンザ －

今週の和歌山県全体の定点当たり患者報告数は0.02人で、田辺保健所管内で患者報告がありました。

例年は12月頃から患者報告数が増え始め、1～3月にかけて流行のピークを迎えます。

今のところ患者報告はほとんどありませんが、感染を予防するために、予防接種を受けたり、うがい・手洗いの励行、マスクの着用等による咳エチケットを心がけてください。

風しんワクチン接種に対する助成制度について

和歌山県では、県内の19歳以上50歳未満の妊娠を希望する女性と妊婦の夫を対象とした風しんワクチン接種費用の助成をおこなっています。

詳しくは、現在お住まいの各市町村の保健福祉関係課へお問い合わせください。

助成期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日

○ 定点把握感染症の警報・注意報レベル基準値について

疾病	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	7	4	4
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
百日咳	1	0.1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

基準値はすべて定点当たりの報告数です。注意報の「-」は対象としないことを意味します。

◆◆ 全数把握感染症について ◆◆

<届出状況>

1) 当該週に診断された感染症のみ掲載しています。

- 1 類感染症：報告はありませんでした。
- 2 類感染症：結核 5 名
- 3 類感染症：報告はありませんでした。
- 4 類感染症：つつが虫病 2 名、日本紅斑熱 1 名
- 5 類感染症：水痘（入院例） 2 名

2) 第 1 週から当該週までに診断された患者報告数を掲載しています。

疾病名	報告数
結核	176
腸管出血性大腸菌感染症	12
E型肝炎	1
A型肝炎	5
重症熱性血小板減少症候群	2
つつが虫病	4
デング熱	1
日本紅斑熱	33
レジオネラ症	3
レプトスピラ症	1
アメーバ赤痢	1
ウイルス性肝炎	2
急性脳炎	1
クロイツフェルト・ヤコブ病	2
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2
後天性免疫不全症候群	3
侵襲性インフルエンザ菌感染症	6
侵襲性肺炎球菌感染症	5
水痘(入院例)	5
梅毒	5
破傷風	2
風しん	1
麻しん	26

◆◆ 5類定点把握感染症(週報)について ◆◆

<各保健所の警報注意報レベル状況>

警報レベル

ありません。

注意報レベル

水痘（湯浅保健所管内）

<年齢階級層別の患者報告数（和歌山県）>

（インフルエンザ）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～
インフルエンザ	報告	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-

（小児科定点対象感染症）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20歳～
RSウイルス感染症	報告	14	6	-	4	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.45	0.19	-	0.13	0.1	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	報告	3	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.1	-	0.03	0.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	25	-	-	-	-	2	6	2	3	2	-	5	5	-	-
	定当	0.81	-	-	-	-	0.06	0.19	0.06	0.1	0.06	-	0.16	0.16	-	-
感染性胃腸炎	報告	52	-	5	5	3	2	6	7	3	7	3	2	9	-	-
	定当	1.68	-	0.16	0.16	0.1	0.06	0.19	0.23	0.1	0.23	0.1	0.06	0.29	-	-
水痘	報告	43	-	1	4	4	8	13	4	5	1	1	1	-	-	1
	定当	1.39	-	0.03	0.13	0.13	0.26	0.42	0.13	0.16	0.03	0.03	0.03	-	-	0.03
手足口病	報告	22	-	-	7	9	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.71	-	-	0.23	0.29	0.16	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	報告	10	-	4	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.32	-	0.13	0.16	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	3	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.1	-	-	0.03	0.03	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告	3	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-
	定当	0.1	-	-	-	-	-	0.03	0.03	0.03	-	-	-	-	-	-

<保健所別の患者報告数（和歌山県）>

(-: 患者報告がない、…: 保健所管内に定点が存在しない)

		和歌山市	海南	岩出	橋本	湯浅	御坊	田辺	新宮	串本
インフルエンザ	報告	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	0.14	-	-
RSウイルス感染症	報告	5	-	3	2	1	2	-	1	-
	定当	0.56	-	0.75	0.5	0.33	1	-	0.5	-
咽頭結膜熱	報告	-	-	-	-	-	1	2	-	-
	定当	-	-	-	-	-	0.5	0.5	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	1	-	7	3	5	2	7	-	-
	定当	0.11	-	1.75	0.75	1.67	1	1.75	-	-
感染性胃腸炎	報告	34	2	7	7	2	-	-	-	-
	定当	3.78	1	1.75	1.75	0.67	-	-	-	-
水痘	報告	12	5	3	3	13	2	4	1	-
	定当	1.33	2.5	0.75	0.75	4.33	1	1	0.5	-
手足口病	報告	14	2	6	-	-	-	-	-	-
	定当	1.56	1	1.5	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	報告	4	1	1	-	3	-	1	-	-
	定当	0.44	0.5	0.25	-	1	-	0.25	-	-
百日咳	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	-	-	1	-	2	-	-	-	-
	定当	-	-	0.25	-	0.67	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告	2	-	1	-	-	-	-	-	-
	定当	0.22	-	0.25	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	報告	-	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	-	…	…	…	…	…	-	…	…
流行性角結膜炎	報告	-	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	-	…	…	…	…	…	-	…	…
細菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	1	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	0.5	-	…
無菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
マイコプラズマ肺炎	報告	-	…	-	-	-	1	3	-	…
	定当	-	…	-	-	-	1	1.5	-	…
クラミジア肺炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…

<院内感染症の動向>

10月の定点当たり患者報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症が2.18人(先月:1.55人)となっています。メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症で患者報告数が最も多い年齢階級層は、70歳以上で全体の約67%となっています。

【10月の年齢階級層別の患者報告数(和歌山県)】

		総数	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳～
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告	24	1	-	-	-	2	-	-	-	-	1	1	-	-	-	3	16
	定当	2.18	0.09	-	-	-	0.18	-	-	-	-	0.09	0.09	-	-	-	0.27	1.45
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

和歌山県感染症情報 (WIDR) 2014 年第 45 号

発行日：平成 26 年 11 月 13 日

発行元：和歌山県感染症情報センター

(和歌山県環境衛生研究センター内)

和歌山市砂山南 3-3-45

TEL 073-423-9570

E-mail e0318011@pref.wakayama.lg.jp

URL <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031801/kishukko>

(お問い合わせ先)

和歌山県福祉保健部健康局健康推進課

和歌山市小松原通一丁目1番地

TEL 073-441-2657

E-mail e0412003@pref.wakayama.lg.jp

この WIDR は感染症新法に基づいて実施されている感染症発生動向調査から作成しています。ここに掲載した情報はあくまでも速報であり、今後の調査結果で訂正される可能性がありますのでご注意ください。